

飼育環境の整備

飼育容器は、ガラス製かプラスチック製のものが好ましい。容器の底に、土や腐葉土を敷き、その上に野菜の残骸や果物の皮などを敷く。定期的に水を換え、清潔な状態を保つ必要がある。

飼育温度は、20℃前後が最適。直射日光を避け、涼しい場所に置く。湿度は、60%以上を保つ必要がある。定期的に霧吹きで水をかけ、湿度を上げる。餌は、新鮮な野菜や果物の残骸、煮た野菜の汁などを与える。



飼育環境の整備